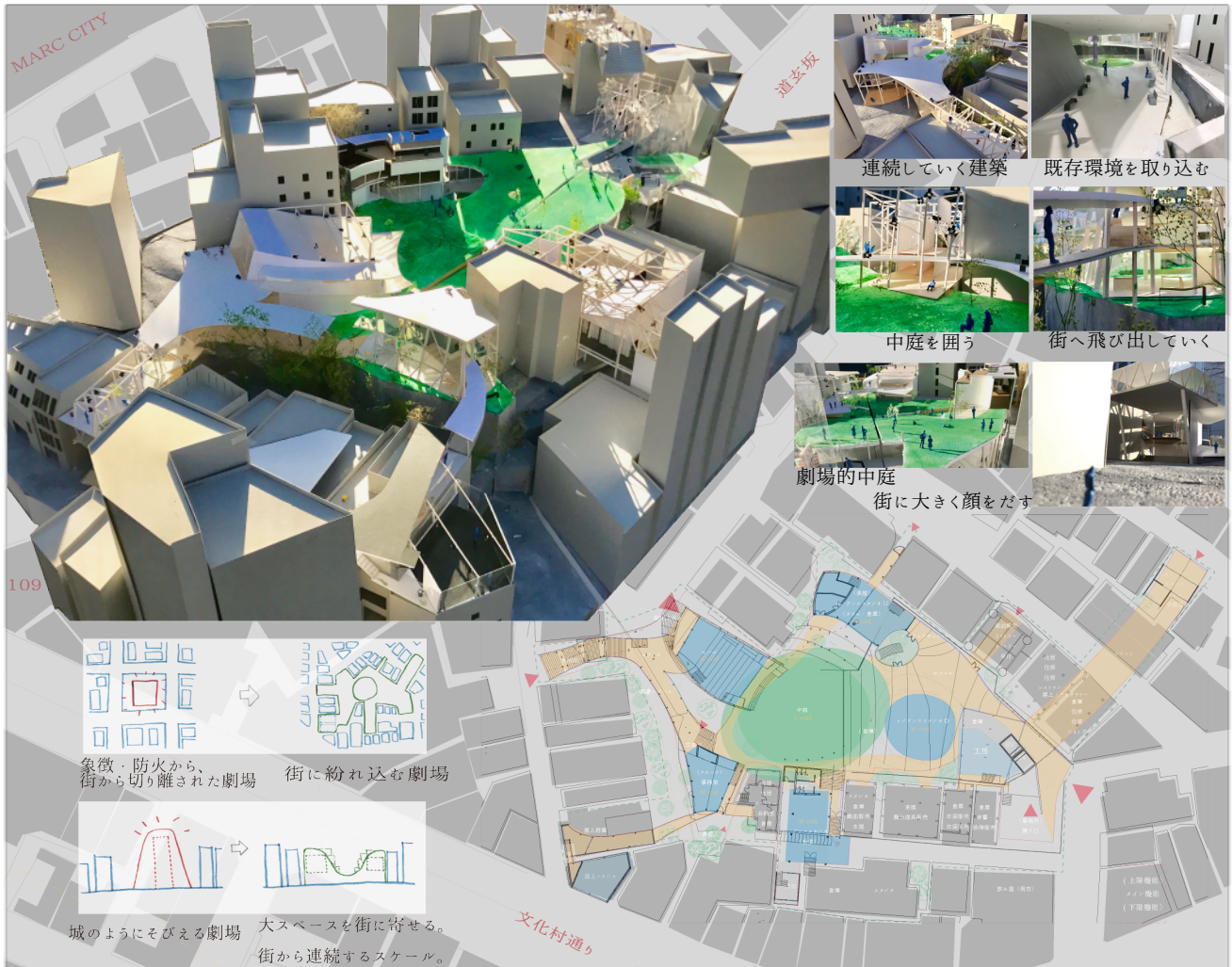
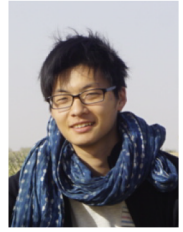


都市の中庭 - 渋谷に紛れ込む集落的劇場

横浜国立大学 建築都市・環境系学科
池谷浩樹



設計趣旨 concept

密集して建物が立ち並ぶ渋谷、その道玄坂街区の中央に、周囲の建物に背を向けられた空虚な空地がある。

この場所に演劇を挿入することで、この場所に人を集めるとともに、渋谷に混在する種々の文化同士の関係を紡ぐ存在として機能し、この場所から新たな渋谷の文化やモノが生成されていくことを提案する。

中庭は人々の活動や文化の溜まり場となり、渋谷の新たな中心の1つとして渋谷に残り続けていくことを目指す。

人々は渋谷を歩きまわる中で建築に遭遇し、街から連続した経験によって中庭に辿り着くとともに、渋谷の新しい風景を発見する。

さらに、演劇を見たり、遭遇することによって空間・時間を共有し、生成過程の関係者となり、渋谷の当事者になる。

渋谷の街の経験から連続した中で発見される中庭、およびこの劇場での経験は、この敷地の見方を変えるだけでなく、渋谷そのものの印象や、見方に変化を与えると同時に、渋谷に対しての新しい中心のあり方、公共のあり方を提示する。

